

## 令和3年度高知県高等学校体育大会

### アーチェリー専門部新型コロナウイルス感染拡大防止対策ガイドライン

本専門部の主管大会における新型コロナウイルス感染対策を下記の通り定める。

#### 1 全般的な事項

- ①実施専門部は、感染防止のために実施すべき事項や参加者が厳守すべき事項をあらかじめ整理し、チェックリスト化したものを適切な場所（大会の受付場所等）に掲示すること。
- ②実施専門部は各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に巡回・確認すること。
- ③参加校のエントリー選手・帯同部員（補助員）・引率者・監督・外部指導者等（以下「大会参加者」という）は、【様式1-①②】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票〈教員・指導者・生徒〉を各競技大会2週間前から大会参加終了日までチェックし、大会初日には【様式2-①】高体連主催大会における大会前の健康状況等確認についてと【様式1-①②】の写しを大会本部に提出すること。また、大会日毎に【様式2-②】高体連主催大会における大会期間中の健康状況等確認についてを大会本部へ提出すること。万が一感染者が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、【様式1-①②】の原本について、保存期間（1月以上）を定めて保存しておくこと。
- ④実施専門部は、万が一感染が発生した場合に備え、個人情報に十分注意しながら、大会参加者から提出された【様式2-①②】の原本および【様式1-①②】の写しについて、保存期間（1月以上）を定めて保存しておくこと。
- ⑤大会役員等は【様式1-③】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票〈大会役員等〉（個人書式）を大会終了日までチェックし、保存期間（1月以上）を定めて保存しておくこと。なお、チェック期間に体調不良等が生じた場合には競技担当者へ連絡を取り参加の可否について確認すること。また大会終了後2週間以内に体調不良が見られた場合には、実施専門部へ報告すること。
- ⑥参加校及び実施専門部は参加者に陽性者・濃厚接触者が確認された場合、保健所や医療機関の指示に従うこと。
- ⑦参加校は大会終了後も【様式1-⑤⑥】高体連主催大会参加後 体温・体調チェック記録票〈教員・指導者・生徒〉を用い、2週間に渡りチェックを継続し、大会終了後1月以上保存すること。  
また、大会終了後2週間以内に陽性者・濃厚接触者・接触者が発生した場合には、実施専門部に対して速やかに報告すること。実施専門部は報告を受けた場合には、保健所や医療機関の指示に従うこと。
- ⑧取材や写真撮影を希望する団体は事前に実施専門部へ連絡するとともに【様式1-④】高体連主催大会参加 体温・体調チェック記録票〈取材団体等〉をダウンロードし、各競技大会2週間前から大会参加終了日までチェックすること。大会当日は各競技

受付へ【様式 1-④】提示し、参加者名簿へ必要事項を記入したのち入場すること。大会終了後 2 週間以内に体調不良が見られた場合には、実施専門部へ報告すること。

### 【様式取扱一覧】

[高知県高等学校体育連盟 HP <http://www.kochinet.ed.jp/kochi-htaiiku/>] より DR 可

様式	作成者	内容	保存場所	保存期間
【様式 1-①②】	参加校	・ 2 週間で体調チェックし作成 ・ 大会期間中もチェックする ・ 求めがあれば提出	各校顧問	大会終了後 1 月以上
【様式 1-③】	大会役員等	・ 2 週間で体調チェックし作成 ・ 大会期間中もチェックする ・ 求めがあれば提出	作成者	
【様式 1-④】	取材や写真撮影を希望する団体	・ 2 週間で体調チェックし作成 ・ 会場受付にて提示 ・ 大会期間中もチェックする ・ 求めがあれば提出	作成者	
【様式 1-⑤⑥】	参加校	・ 大会後 2 週間で体調チェックし作成 ・ 求めがあれば提出	各校顧問	
【様式 2-①】	参加校 (学校長)	・ 大会前 2 週間の健康チェック内容を学校長が確認し、公印を押印し作成 ・ 大会当日に顧問が大会本部へ【様式 1-①②】の写しを添えて提出	専門部	
【様式 2-②】	参加校	・ 大会日毎に作成 ・ 大会参加を自粛するものがある場合は所属長および実施専門部へ状況を報告 ・ 大会本部へ提出	専門部	

※【様式 2-①②】は提出がない場合、原則試合への出場が認められないので各校顧問は注意すること。

## 2 競技運営上の感染対策留意事項

### 競技特性に応じた事項

- ・ 感染防止のために主催者が決めたお願いや措置の遵守、主催者の指示に従うこと。
- ・ 主催者が定めた各大会の参加規程に従い申請された監督・コーチのみ競技場への立ち入りを許可する。
- ・ 入場が許可される審判員・役員・監督・コーチはマスクを着装して進行する。
- ・ 会場内にアルコール消毒を設置する。
- ・ 可能な限り選手・監督・コーチ・役員・報道関係者は、入場する前に検温を行う。
- ・ 37.5 度以上の方の入場はお断りする。
- ・ 大会プログラムを作成して参加選手と所属を確認する。
- ・ 受付の簡素化を行う。なるべく距離を取って対面を避け、会話は控えめにすること。

- ・選手も支障のない範囲でマスクの着装をお願いします。矢取・控え所での待機時でのお願いとする。
- ・無観客とする。
- ・会場内での会話をできるだけ避け、大声はご遠慮するよう要請する。
- ・選手間のスペースを1m以上確保する。例：6mピッチに2名から6名。
- ・控え場所での間隔は1m以上空間を確保するようお願いする。待機場所では濃密にならない指導とお願い。
- ・監督・コーチは指定されるウェイトングラインを指導ポジションとする。
- ・握手やハイタッチは禁止する。
- ・スコアカードの回収は直接選手より受け取らない。回収ボックス等を準備して対応する。
- ・マスコミ各社には規制線を設けて、選手との接触を極力避ける対策をする。指定されたエリア内で撮影・取材をお願いします。
- ・選手へのインタビュー・個別取材等は競技終了後のみとする。
- ・1m以上開けての取材で、マスクの着用をお願いします。
- ・終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告する。

#### 《本大会時の対応》

(1) 会場・・・会場全般を通じて、参加者同士が密接な状態にならないようにする。

- ① 会場は、入口を限定するようにして、参加者の入場確認をする。
- ② 入口に消毒液を置き、入場時等には必ず手指の消毒をする。
- ③ 競技場は、レーン幅や選手間の間隔を確保し、密にならないような対策を講じる。
- ④ シューティングライン上で1mの間隔を確保できるように、標的配置を決定する。
- ⑤ 選手、役員とも、椅子やテーブルの数量と設置場所を指定し、選手間の間隔を確保する。

(2) 用具検査

- ① 用具検査の担当審判員は、マスク（フェイスシールド）と着用する。
- ② 参加者は、マスクを着用し、他の競技者と距離を保つ。
- ③ 検査については、選手が用具を保持し、審判員が目視検査を行う。

(3) 開会式・閉会式・表彰式

- ① 表彰は成績発表のみとし、入賞者への賞状・賞品の授与は終了後、受付にて配布する。

(4) 競技中

- ① 選手、監督・引率、競技役員、メディア関係者等は、適切な距離を意識し、安全な距離を確保する。
- ② 選手は、行射中以外、マスクを着用する。
- ③ 監督・引率、競技役員、メディア関係者等については、常時マスクを着用する。
- ④ 採点中も、選手同士は適切な距離を確保するように意識し、安全な距離を確保する。
- ⑤ 競技中のスコアカード管理はそれぞれ選手が行う。
- ⑥ 審判員が矢の判定で呼ばれたときは、選手を標的から遠ざけて、安全な距離を確保する。

(5) その他

- ① 参加者は感染防止のために主催者が決めた措置や指示に従う。

- ② 大会終了後2週間以内に、本人・家族が新型コロナウイルス感染症を発症した場合、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無などについて報告する。
- ③ 大会終了後の帰路などについても、3密を避ける等の感染防止に努める。
- ④ 大会期間中、参加者に陽性者が判明した場合、関係諸機関の指示を仰ぎ、主催者が大会の中止を判断する場合もある。